

尾熊議員（公明党）

平成 30 年 9 月 20 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）避難所におけるトイレの洋式化について

災害時に避難所となる公立小中学校のトイレの洋式化に向けた改修や、県立学校のトイレの洋式化への改修を進めるべきと考えるが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

家庭や商業施設などにおきましては、ライフスタイルの変化に伴い、トイレの洋式化が進んでいることや、公立学校施設の多くは、非常災害時の避難所としての役割を担っていることから、教育環境の改善や防災機能強化の一環として、公立学校施設のトイレを洋式主体に切り替えていく必要があると考えております。

こうした中で、

- ・ 校舎などの耐震化を優先して取り組んできたことや、
 - ・ トイレの洋式化に係る経費の3分の2は地方負担となること
- などから、県内の公立小中学校におけるトイレの洋式化については、十分に進んでいない状況でございます。

このため、県教育委員会といたしましては、他の都道府県とも連携して国に対して必要な予算総額の確保や、補助要件の緩和、補助率の引き上げなどの要請を行うとともに、市町教育委員会に対しましては、学校施設の老朽化対策などに取り組む中で、併せて、国の交付金を活用して、トイレの洋式化に取り組むよう、引き続き働きかけを行ってまいります。

また、県立学校施設のトイレの洋式化につきましては、「県立学校施設長寿命化方針」に基づき、計画的に学校施設の長寿命化を進める中での整備や、学校施設ごとの状況を踏まえた整備を進めてまいります。